

ひととまち 親しみを感じる広報誌

# 広報はんなん

11

令和2(2020)年  
No.577

ここに海がある



※新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策のため施設などの休館日やイベントなどの開催が中止・変更となる場合があります。  
最新の情報は、本市ウェブサイトをご覧ください。

# 阪南の

# 海に親しむ、海を知る、海を利用する、海を守る

## 海洋教育パイオニアスクールプログラム

☎学校教育課TEL 471-5678 (内線 2367)

特集

### 未来に続く 阪南の海

本市は、和泉山脈を背にして大阪湾に面している、山と海が近い地域です。

市内には大阪湾の中で貴重な自然海岸と、尾崎・西鳥取・下荘の3漁港があり、古くから「たこぼ漁」や「地引き網漁」が行われてきた漁業が盛んな地域で、昔ながらの方法で「のり」や「ワカメの養殖」が現在も営まれていたり、「カキの養殖」が行われていたりするなど、海と近い生活が息づいています。

豊かな海は、森や里、川、海がつながり栄養を循環し作られています。海を見ると、陸の人がどのような生活をしているのか分かるように、海の環境だけを考えるのではなく、里山の環境を考えていくことが環境保全にとって大切です。

本市では、未来を担う子どもたちに、海洋教育パイオニアスクールプログラムを通じて、「海」を題材として、気づきや思考力を伸ばし、限りある資源「海」を次世代につなげていくために取り組んでいます。

## 「海洋教育パイオニアスクールプログラム」 ってなあに？

「海洋教育パイオニアスクールプログラム」は、海の豊かな自然と親しむ活動や、身近な地域社会の中で海とのつながりを感じとれるような体験活動、海について調べる活動、その保全活動などの体験を通して、海に対する豊かな感受性を培い、海に対する関心を高めるとともに、海洋環境、水産資源など海洋と人間の関係などを学習し、持続可能な社会の担い手を育成することを目的としています。

主催：日本財団

東京大学海洋アライアンス海洋教育促進研究センター

笹川平和財団海洋政策研究所

後援：文部科学省

参加校：西鳥取小学校、舞小学校

尾崎小学校、下荘小学校

また、平成30年に「全国アマモサミット2018 in 阪南」が本市で開催され、阪南の海の豊かさを守り、育て、未来につなげていくことを宣言しました。



## 次世代につなげる アマモの種子選別

舞小学校では、アマモを中心に大阪湾を含めた海の環境保全について学習を行っています。

山がすぐ近くにあるという学校の立地条件から、水の循環という視点で学習を進め、「山が豊かになれば、海が豊かになる」ということを学んできました。

アマモの種子選別は、学習の総仕上げとなる授業で、子どもたちは生き生きとした表情で話を聞き、真剣に阪南の海で育ったアマモの種子を取り出していました。

この授業で選別した種子は、海の環境が循環しているように、子どもたちの思いと一緒に、次の学年に引き継がれていきます。



アマモの種子を取り出すぞ！



ピンセットを使い、アマモの種子を真剣に取り出しています

## 海とつながる 男里川生き物観察

尾崎小学校では、男里川がすぐ近くにあるという学校の立地条件を生かし、水質や生き物について学んでいます。

令和2年度からは、活動を「川」だけでなく「海」にも広げ、環境保全や生き物の多様性などを考えています。

男里川での活動では、「これだけきれいな川が近くにあるよ」「この川や自然を守るのは、これから大きくなる君たちだ」という話に真剣に耳を傾けていました。



男里川の免砥橋付近で  
生き物観察



手のひらサイズのカニを発見！  
他にも小さな魚やエビが  
たくさん見つかりました★



# 先生も海の豊かマヤ 楽しさを全力で体感

子どもたちの短い夏休みの期間、海洋教育を行う市内の先生たちは、子どもたちに分かりやすく伝えるために、まずは自分たちが学び体感する研修会に参加しました。

研修では、テレビ（ザ！鉄腕！ダッシュュ!!）でおなじみの木村尚さん（NPO海辺つくり研究会理事）や阪南の海で活動している岩井克巳さん（NPO法人大阪湾沿岸域環境創造研究センター専務理事）から海の現状や海洋教育の大切さを学んだ後、海に学習の場を移し、生き物観察や地引き網体験、海での安全講習を行いました。

たくさん生き物を捕まえて、阪南の海の豊かさや海の楽しさを全力で体感しました。子どもたちが楽しく興味を持って学習するためには、まずは大人（先生）が真剣に楽しみながら学び！

阪南の海には  
タツノオトシゴも  
すんでいます



バケツいっぱいの「ゴンズイ」

## ★海のすばらしさを教えてくれる海のスベシャルリスト★



チーム☆ガサの皆さん



木村尚さん 岩井克巳さん



## 漂着物から楽しみ学ぶ ビーチコーミング

近くに自然豊かな海があることを知り、海で楽しむきっかけを作る「ビーチコーミング」。漂着物や砂浜、岩場に住む生き物を観察しました。拾った貝殻やシーグラスは、工作をして楽しめます。海がすぐそばにある西鳥取小学校では、アマモを増やし、豊かな海を自分たちの手で作っていくことと、平成22年度からアマモ場再生活動「海のゆりかご再生活動」を行っています。地域の特性を生かし、漁業に従事している人とのつながりや環境について学びます。

※ビーチコーミングとは、海岸などに打ち上げられた漂着物を観察したり収集したりすることです。



## 大阪湾を身近な存在にするために

大阪湾を身近な存在にするために、私たちの生活の中でもできることがあるはず。

海に行ってみる、遊んで楽しむ、魚を取って食べる、生き物と触れ合うなど。

限りある大切な資源である「海」。

子どもたちと一緒に、大人も自分たちの暮らしを見直し、環境について考えてみませんか？

海山に囲まれた私たちが住むまち「阪南」には、すてきな「海」があります。

